

新年度のご挨拶

特集

「看多機」

信愛之友

社会福祉法人 信愛報恩会 2016年 春号 SPRING No.633

新年度を迎えて

信愛報恩会 理事長 桑名 斉



昨年の同時期に書いたことは、『医療、介護、福祉が一体となり地域と協働で地域包括ケアシステムを創らなければならないときに、これまでのようにバラバラの意識であつてはなりません。キリスト教の愛と奉仕の精神に基づく「しんあい」は一つなのです。新生信愛は各事業所間の職員の人事交流も行ないながら、統合化を進めます』でした。

1年がたった今、みなさんの職場では「しんあい」の一体化が進んでいますか。

現在、各事業所が提案した新年度事業計画を基に、法人全体の事業計画を策定し、3月の理事会で審議してもらうべく準備を進めております。

法人本部としては、さらに人材開発を進めることと、経理部門や人事総務を統合することによって、各事業所の負担を少なくするシステム作りを行います。

信愛病院は、越永新院長を迎え、念願の電子カルテやオーダーリングシステムを導入し、業務の一元管理を目指します。また、入院と在宅医療、リハビリテーションの充実と介護療養病床の強化を推進します。

訪問看護ステーションほほえみは、これまでの訪問看護に加え、複合型サービスの向上とさらなる看取り対応ができるよう努力します。

信愛の園は、スタッフの教育・研修によりケアの質の向上を図ります。在宅関連サービスでは、入浴など地域の要望に応えられるよう見直しを行います。

大塚みどりの郷は、新年度をもって文京区に

おける事業から撤退することになりましたので、後継事業者への引き継ぎをスムーズに行います。

のぞみの郷は、さらなるケアの質の向上と悪化した収支の改善に取り組みます。

信愛苑は、老朽化した配管設備の更新などの保守点検と、防犯、防災対策を行います。

清戸の里複合施設は、生活の場として十分な信頼を得られるようになりましたので、引き続き、収支の改善とともに地域に親しまれるように努力します。

以上、かいつまんで述べましたが、何といても法人の事業継続のためには健全経営をしなければなりません。健全経営とは、財務管理はもちろんのこと、しっかりとした労務管理や人事管理があつて初めてみなさんが安心して医療や介護の仕事ができるのです。それは結果として、患者さんや利用者さんや地域の人たちが地域包括ケアシステムを担う法人として、私たちを信用して下さることに繋がります。

新年度はより良いサービスを提供できるように、スタッフのレベルアップを目指します。そして、井の中の蛙にならないように、学習、研修、研究、発表などで外部との交流を重ね、ますます周囲から信頼されるように精進していきましょう。

そのためにも、しんあいのみなさん一人ひとりが自らの身体面、精神面の健康管理に留意し、能力を高めて現場で十分活躍をしながら、有益な一年になるよう願つてやみません。

新年度を迎えて

信愛病院

院長 越永 守道

電子カルテの導入

電子カルテの導入によって患者さまの医療情報が一元管理できるとなりました。この一元管理とはどういうことかと申しますと、紙ベースのカルテ（紙カルテ）の場合には、外来と入院のカルテが別々になります。が、電子カルテでは基本的に患者さまの情報は外来、入院の別なく管理されます。これにより患者さまにとっては、どの医師がどのような治療をおこなったかを容易に知ることができるよう、患者さまの治療にとっても大きな助けになります。まだ導入後間もないので職員もシステムに不慣れな点もあり、多少ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、適切な治療を安全にお届けするという我々の本来の使命を果たすために必要であること、当院をご利用頂く患者さまやご家族にとってもメリットがあることをご理解頂ければ幸いです。

病院機能評価

昨年度は日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。今は最終的な評価結果を待っているところですが、評価機構のサーベイヤーからは、当院は概ね良質な医療を提供しているとの講評を頂くことができました。しかしながら部分的には改善の必要な点も指摘を受けていることから、最終的な評価結果を待つて院内全体で速やかに改善に務めたいと思っております。

我々の使命は、病院は良質な医療を提供すること、介護、福祉においては地域の利用者が安心して老後の生活を送ることができ、かつ生き生きとして人生を謳歌できるようにお手伝いすることです。医療を含め良質なサービスを提供し続けることの結果として収益がもたらされることを今一度自覚して使命を全うしてゆきたいと考えております。

信愛の園

施設長 燈 勉

あふみ

食とあいさつ

『職員の「体とこころ」の健康に寄与する「食とあいさつ」』はとても大切な要素です。

ご利用者に笑顔でケアを、と心がけていても、身体が不調だったり、心が沈んだ状態では「気持ちの良いサービス」の達成は困難です。毎日心身が健康であるためには、「睡眠・食事・リラックス」の三要素は欠かせません。

信愛の園では職員の健康に少しでも寄与できるよう昨年、「サラダバー」でバランスのとれた食事提供を試み、また職員食堂をリニューアルしました。



カフェ風にリフォームした
信愛の園の職員食堂

さらに、職員は「月間コミットメント」により当月のサービス向上テーマを毎朝、皆で唱和したあと「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「こんばんは」「ありがとうございます」のかけ声を合わせています。この過程で、気持ちの切り替えがはかれ、誰にでも気持ちの良いあいさつを交わせるようになります。職員の健康管理と明るいあいさつは、ご利用者へのより良いサービスの向上につながっていくと確信しております。

人材の育成と教育

今年は一にも二にも人材の育成・教育に力を入れ、全体のケアの質を上げていきたいと考えております。これらを体系的に実施し、三〇五年後には信愛の園に「人をきちんと育てる風土」が自然に感じられるようにしていきたいと思っております。

新年度を迎えて

文京大塚みどりの郷

施設長 奈良 高志



心の様相

「青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の様相を言うのだ。」(S. ウルマン)

信愛報恩会の元理事長であり大塚みどりの郷の2代目施設長として基礎を築いた故木内氏が良く引用した言葉です。ご利用者には、いつまでも若く自分らしくあり続けることを、職員には熱意と前向きさを、この有名な言葉を紐解きながら語っておられました。

信愛報恩会による大塚みどりの郷の運営が最後の年となりました。二十八年間、先輩諸氏、ご利用者・ご家族、地域の方々から多くのことを学び、支えていただき、最終年度を迎えます。後継法人も決まり、職員、ご利用者・ご家族にも、当該法人からの説明は終わりました。



信愛の心を胸に

本年度は、①円滑に後継法人

へ引き継ぐこと、②利用者が安心して新しい法人による介護サービスの受けること、③職員の雇用が確保されることの三点に集中して引継ぎ計画を実行します。

冒頭の「心の様相」を想起しつつ、職員「ひとりひとりが重要であり、それぞれに役割がある」ことを私たち全員が心に留め、前に進むべきです。最終年度に際して、一人ひとりの中にある「信愛の心」を、ご利用者・ご家族、地域の皆様に、還元すべく力を注ぎます。

そして、「他では決して学べない今回の体験」が職員それぞれのこれからの人生の糧となることを祈らずにはいられません。

今年度の歩みは、私たちにとって決して平たんな道のりではありませんが、「誰しも現実を変える力がある」ことを、ご利用者と職員から学ぶことができたことに感謝しつつ、汗を流しとともに知恵を結集して進んでいきたいと思います。

信愛のぞみの郷

施設長 小森 裕貴子



生活を豊かに

利用者の生活を豊かにするために各階の余暇の提供に努めてきました。

活動紹介

4 階
・毎月のお楽しみ会
・制作活動
・お誕生日サービス
・散策

3 階
・希望に沿った外出
・夏祭り
・ガーデニング

2 階
・近隣散歩
・アロママッサージ
・お化粧



旧古川庭園で記念写真を撮りました。



信望愛の精神を

今年度は、①利用者の権利とその意思を尊重し、笑顔が生まれる温かい生活の場を作ります。②感染症ゼロの為の予防対策の徹底と、介護事故を減らす環境整備、

時代の移り変わりを
見守ってきた。
「マリア像」

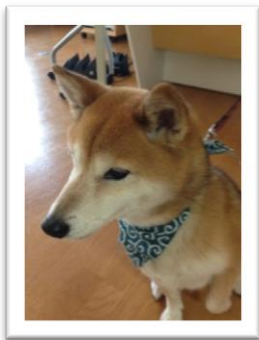


現在、のぞみの郷は利用者もスタッフも様変わりする中で地域の皆様が寄せてくれる支援に励まされ続けています。社会福祉法人としての使命を果たす為に地域への専門性の還元や、学生たちの学びの場、地域交流の場を拡げていきます。

信愛のぞみの郷は今年で設立二十二年目を迎えます。信愛保育園時代から六十七年もの間「信仰と希望と愛」の基本精神を大切にしてきました。左写真は職員玄関横に移設した保育園時代のシンボル母なるマリア像です。

研修を実施します。③事業継続のために必要な資金確保に向け、業務の見直し等経営改革を継続していきます。

新年度を迎えて



清戸の里で大人気！
柴犬“マメ”

二年目に突入した『しんあい清戸の里』は、ありがたいことに四十二室満室運営を継続し、入居希望で待機している方も常にいる状態です。最近では「施設に入るにはまだ早いけど自宅に戻るのはちよつと無理かな」という理由でのご利用が多くなり、サービス付き高齢者向け住宅に対する理解も浸透してきたと実感しています。

平成二十七年度を振り返り、特に三点お伝えします。

一点目は、四月に柴犬のマメが清戸の里にきたことです。お客様に迷惑をかけることも多くありますが、同じくらいお客様に幸せと喜びを届けてくれます。

二年目になりました

しんあい清戸の里 支配人 平野昇



これからもお互いに共存していく為に、マメに対する理解を深めて頂ければと思います。

二点目は、清戸の里内で七月・八月に夏野菜（キュウリ・トマト）を販売しました。

三点目は、地域交流室「かたくり」の運用で、歌の会・体操・パン販売など、ご利用のお客様には大変喜んでいただきました。

今年の清戸は！

① ボランティアを受け入れるだけでなくボランティアとして外部に出て行くこと。

② 清戸の里合同行事『夏祭り・敬老会・クリスマス会』を地域の方を招き盛り上げていくこと。

今年一月中旬に降った大雪の影響で清瀬市にあるビニールハウス栽培農家では、ビニールハウスが雪の重さで倒壊するなど甚大な被害に見舞われました。清戸の里では清瀬市産の野菜購入など販売促進に協力できればと考えております。

家で生活を続ける

訪問看護ほほえみ 看護小規模多機能 所長 上村 貴代美

平成二十六年に清瀬初として立ち上げた看護小規模多機能事業が一年を経過しました。在宅療養が難しい医療処置のある方やがんの末期の方を積極的に受け入れ、訪問看護と通い、泊り、訪問介護を組み合わせる在宅療養を支援してきました。利用者の方から「ここがあつて家での生活を続けられる」という意見をいただきこの事業の必要性を実感しています。

今年度は、①訪問看護事業において、医療依存度の高い方でも受け入れられる質の高い看護を二十四時間三百六十日提供する。②看護小規模多機能の理解を広め地域の方の利用をもっと増やしていく。③地域包括ケアの実現に向けて、地域が多職種との連携を図りチーム作りを行っていくことです。

元気塾

信愛の園在宅支援課 センター長 上垣 真人

「脳トレ元気塾」は、音楽に合わせて体を動かすのが楽しいと評判を呼び、現在、平均三十五名の参加です。



今年度は、①スタッフからの「他事業所の見学や新しいケアをもっと学びたい」に応え、みなさんに最新の知見に基づいたサービスを提供し続けられる研修をしていきます。②介護と医療が協力して在宅での暮らしを支えられるように、市内外の連携の場にスタッフを派遣します。③今後、在宅での暮らしを支える担い手の中心の1つである訪問介護のスタッフを充実します。

ケアマネージャー、ホームヘルパー、デイサービス。新規ご利用はお待たせいたしません。

新年度を迎えて



明るく元気なダンスに利用者の方々も元気をもらいました。

昨年度は、介護報酬の見直しもあり厳しい一年でしたが、新規ご利用の方達も増え、賑やかに過ごした一年でした。
お花見、夏祭、バスハイク、忘年会といった行事や併設された小学校のご厚意により、年に数回の生徒さん達の訪問があり、大変恵まれた環境が与えられ、笑顔が絶えない一年を過ごすことが出来ました（左写真）。
残念ながら今年度をもって当法人での運営が終了することになります。ご利用者、ご家族にご迷惑が掛からないよう、職員の継続雇用を含め、円滑に後継法人に引き継ぎ、更に皆様にご愛顧いただけるよう努力して参りたいと思っています。

笑顔が絶えない一年

文京昭和湯島

在宅サービス

センター長 小林 正幸

福島市との絆

のぞみの郷 在宅部門

センター長 三川 和則



福島から寄贈された桃の枝を前に利用者の話に花が咲きました。

荒川区は今年2月福島市と友好都市協定を結びました。

今年度は、①今年も笑顔が生まれる明るいデイサービスを目指していきます。②包括支援センターに初めて認知症地域支援推進員が配置されます。認知症の施策を中心的に担っていきます。
③居宅事業所はケアマネージャー・五名体制で事業を行い、引き続き事業所加算をとり黒字化を目指します。
今まで働いていた先輩方が築き上げてきた地域の信頼を失わないよう気を引き締めて日々の仕事に取り組んでいきます。

年に二回の楽しみ

信愛苑

苑長代行 渡辺 幸子



素敵な風景とおいしい料理で秋を感じました。

秋の日帰り旅行で秋川溪谷の払沢の滝へ行ってきました。（写真）。平均年齢八十五歳の入居者が片道2kmの山道を登りきり、マイナスイオンを浴びて美味しい山里料理に舌鼓を打ち満喫しました。今年の春は長瀬に行きます。

今年度は、基盤の整備への取り組みです。エレベーターの全面改修工事とスプリンクラーの新設を含めた給排水工事を計画しております。②サービスの質の向上のために職員一人ひとりが研修会等に積極的に参加します。③法人内で連携して広報活動を積極的に行い安定した運営に努めます。

地域との繋がりの場



「茶どころ だんだん」にて、入居者と住民の方が歓談している所です。

グループホームひまわり

管理者 櫻井 彰

昨年度は、地域のふらっとサロン「茶どころだんだん」への参加、近隣保育園との交流会、清戸の里の夏祭りを開催し、地域住民に清戸の里について知ってもらったきっかけを作りました。十一月の清瀬ふれあいまつりでは、音楽喫茶にて入居者が実演し、入居者の作った根付（和製のストラップ）の販売等を実施しました。

今年度は、①地域との繋がりを広げる。②ボランティアを積極的に受け入れ、入居者の生活の質を高めると共に、風通しの良いホームを目指す。③入居者の健康維持を図る取り組み（食事・運動等）を行い、元気で明るいホーム作りをすることです。

特集

複合型ケア ほほえみ

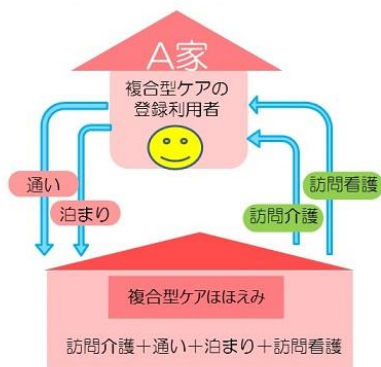
(看護小規模多機能型居宅介護)

看多機（かんたき）ってなあに？

正式には『看護小規模多機能型居宅介護』と言います。昨年までは、『複合型サービス』という名称でしたが、今回は『看多機』と略します。名称だけだとわかりにくいのですが、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」の4つを組み合わせたサービスです。4年前（二〇一二年）に地域密着型のサービスとして新設されました。現在、東京都でも十四ヶ所しかありません。

『看多機』には、「訪問介護」だけではなく、「訪問看護」がありますので、今までの在宅サービスでは対応しきれなかった医療処置が

複合型ケアほほえみ



必要で介護度の重い利用者さまも、状況に応じてサービスを柔軟に組み合わせることにより、家での生活が継続できるようになります。

信愛報恩会の「信愛訪問看護ステーションほほえみ」がバックアップしていますので、『看多機』の名称は『複合型ケアほほえみ』と名づけられました。

ずっと家で暮らしたい・・・
その思いを支える4つのサービス

複合型を利用する場合は、まず登録が必要です。登録をした利用者さまは、4つのサービスを利用できます（左図）。専任のケアマネジャーが柔軟にプランを組み替え個人の状況に応じたサービスを計画します。

登録者定員25名

①通い 1日15名 送迎つきで施設にきていただき、食事や散歩、体操、入浴などをして過ごしていただけます。	②泊まり 5室 通いと同じ場所で同じスタッフが対応し宿泊していただけます。
③訪問介護 自宅で過ごしている時も介護スタッフが訪問し介護いたします。	④訪問看護 自宅に看護師が伺い、体調管理をいたします。24時間対応です。



サービスは、『複合型ケアほほえみ』で「通い」「泊まり」を利用できます。『複合型ケアほほえみ』には、「通い」で過ごすラウンジ、リフト付きの浴室と「泊まり」で利用する5つの居室があります（下記写真）。居室は、日本の古来の色の名前がつけられ、部屋のカラーイメージとなっています。

家にいる時は、介護スタッフや看護師が「訪問」します。全て顔なじみのスタッフが対応します。その方の生活にあわせて、必要な時に必要なサービスを提供しています。例えば、冠婚葬祭などの家族の事情で、急に「泊まり」を利用するといったことも可能です。



「泊まり」の居室。家庭にいるような雰囲気、窓からは清瀬の緑が見えます。



「通い」で過ごす賑やかな雰囲気のラウンジ。お食事をしたり、レクリエーションを行っています。

複合型ケアほほえみの概要

- ・ 開設年月日 2014年8月11日
- ・ スタッフ数 看護師8（常勤6、パート2）訪問看護
- ・ 介護職11（常勤10、パート1） ケアマネージャー 1

概要	人数	利用者
登録定員	25	人工肛門、膀胱ろう
通い定員	15	膀胱留置カテーテル
泊まり定員	5	人工血液透析
現登録者数	20	インシュリン注射
平均介護度	3.0	頸髄損傷
		脊髄小脳変性症
		脳梗塞後遺症、認知症
		がんの終末期

取り組みを広げていくために

透析を受け、インシュリン注射が必要な方、認知症で乳がんもあり、一人暮らしをされている方など、在宅で生活を続けたいけど、医療的な問題で在宅は難しいと思われる方にご利用いただいています。

先日、東京都小規模多機能型居宅介護協議会Bブロック連絡会で、『複合型ケアほほえみ』の栗原



栗原看護主任（講演）

看護主任が、取組の発表を行っていた（左記写真）。看多機を行っている事業所や、これから行いたいと計画している事業所の方々が参加しているのですが、関心の高さに驚くほどでした。開設より必死に新しい事業に取り組んできましたが、その取り組みは、十分に他の事業所にとって参考になる先行事例になっていました。

地域包括ケアの時代に、看多機

はなくてはならないサービスで

す。まだまだ認知度が低いサービ

スですので、皆さんに知っていた

だけ行うようこれからも、情報発信

を行っています。

ご利用者のさまの声

- 「看護師さんが“通い”にもいて、24時間対応してくれるので安心」
- 「“通い”で慣れた場所に“泊まる”こともできるからいいね」
- 「“通い”も“泊まり”も“訪問”も同じスタッフだから慣れていていいね」

あなたのほほえみのために

私たちがいます

実際に利用する方の声を聞いてみると、右記のような声が多くあります。「慣れた場所」「顔見知りのスタッフ」という言葉が重要だと感じます。安心感を提供するためのキーワードはこのへんだと分かってきました。

こういった声を受けて、これからも「家で暮らし続けるのは難しいかも」と心配される方にご利用いただき、清瀬という住み慣れた地域、住み慣れた家で、家族や友人知人に囲まれた生活を続けられるように支援していきたいと思っています。

困った時は、ぜひお気軽にご相談ください。



浴室 プライバシーが保たれ、要介護の方のためにリフトも利用できます。

相談・問い合わせ： **042-493-5685**



～ 共に歩む ～

このページでは、信愛報恩会のスタッフやボランティアさんをご紹介していきたいと思います。今回は4月に就任しました、信愛病院の院長をご紹介します。



信愛病院
院 長

こしなが
越永

もりみち
守道



名前の由来： 聖書の一節（どこかは不明）から取ってきたと両親から聞いています。道や法を守って悪いことをしないようにと付けたのかもしれません。

出身： 出身は千葉県船橋市です。3歳の時に小金井市に家族で引っ越し、大学3年生まで小金井で過ごしました。現在は練馬区在住です。信愛病院には、非常勤医師として15年以上前から勤務してきました。はじめて来た時に医局の窓から外を眺めていたら、「どこかで見た風景だな～」と感じて、外に出てよく見ると自分の卒業した東星学園小学校だったのでびっくりしました。凄い偶然ってあるんだなと感じたのを憶えています。今、院長として信愛病院で働いているのも何かのご縁かと思っています。

趣味： 家族で行く海外旅行と50歳ではじめたゴルフです。写真はタイのアユタヤで撮影したものです。

—専門分野を教えてください

脳神経外科です。脳腫瘍や脳出血、クモ膜下出血などの治療をしてきました。信愛病院では、頭痛やめまい、物忘れなどの診療をしています。また多くは動脈硬化が原因となる脳梗塞や脳出血の予防のために、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の治療もおこなっていきたくと思っています。

—医師を志した理由を教えてください

父も医師でしたが法医学者（社会医学系の研究者）でしたので、私も学者を志して大学の医局で臨床と一緒に研究活動をしていました。主な研究は神経再生に関する研究と神経損傷における細胞反応でした。

—仕事で大切にしていることを教えてください

仕事とは、「自分がしたいこと、できることをただ供給するのではなくて、求められていることを見極めて、これを創意工夫して提供すること」とと思っています。そのためには、自分の力だけでは限界があり、必ず他の人（他の領域や職種の人）と協力し合わなければなりません。すなわち他者に誠実に接し、嘘をつかず、言い訳をしないで前に進む覚悟が必要です。またこれこそが、人を成長させ他者との協調性を育むことにつながります。そして最終的には人との「和」を如何に形成できるかが、仕事において一番大切な能力であると思っています。

—信愛病院はどんなところが良いですか

職員が大変やさしく、ケアが行き届いた病院と思っています。私の両親はかなり以前に亡くなったのですが、両親とも信愛病院の緩和ケア病棟で家族とスタッフに看取られて最期を迎えました。私の家族は「良い病院で最期を迎えられた」と感謝していました。その当時のスタッフの皆さま（今も信愛病院にいる方も多いです）には、心から感謝しています。

—信愛の友読者へのメッセージをお願いします

丁寧な診察と診療を心掛け、皆さまに満足して頂ける医療を提供できるように頑張ります。よろしくお願いします。



信愛報恩会お知らせ



第 36 回しんあいバザーの日程が決まりました。今年も9月の第一日曜日を予定しております。バザー寄付金、寄付物品の回収は5月から開始予定です。是非、ご協力をよろしくお願いいたします。詳しくは、バザー要綱をご覧ください。

認知症外来スタート

4月より、信愛病院では毎週水曜日の午前中に「認知症外来」を行っています。

認知症は早期発見と早期治療をすることで症状を軽くしたり、進行を遅らせることが出来ます。また中には治療をして治せる認知症もあります。

物忘れ等が気になりましたら、「認知症外来」を受診してみましょう。

人事異動報告

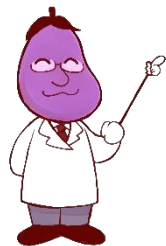
「信愛病院」

3月21日付 院長に越永守道が就任

「信愛のぞみの郷 在宅部門」

4月1日付 センター長に三川和則が就任





「緩和ケア」

『緩和ケア』という言葉聞いたことがありますか？最近、時々耳にすることが多くなり、知っているという方も多くなってきました。今回は、『緩和ケア』とはどんなことをしているのかをお話します。

さて、『緩和ケア』とは一体何なのでしょう。『緩和ケア』とは、“がん”などの重い病気にかかった時に、身体のつらさや精神的なつらさ、経済的な悩みや人間関係の悩み、孤独感や絶望感などのつらい気持ちに対して、患者さんとその家族や仲間に対して様々な支援をおこなう活動です。

病気を無くして元通りにする「治す」という方法ではなく、病気や困難のなかで何とか上手く生活をしていけるように応援するのが『緩和ケア』という方法です。最近では“がん”の半数の人が5年以上治療を続けている時代になりました。長い治療生活の途中で、身体がつかなくなることや精神的につらくなること、経済的な問題や人間関係の悩み、孤独感にさいなまれるなど、いろいろなつらさを患者さんとその家族が経験すると思います。

また、「治す」という方法が困難になったり、病気が再発したりすることもあります。そんな困った時に『緩和ケア』があなたの生活に役立つと思います。

実際に『緩和ケア』は何をするのでしょうか。『緩和ケア』を行うのは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、牧師、ボランティアなど、たくさんの人々が行います（左下図）。身体のつらさに対しては、医師、看護師がその症状にあった治療やケアを行います。身体の症状を薬や放射線治療などで対応します。精神的なつらさに対しては、医師、看護師、臨床心理士などが、制度や経済的な問題はソーシャルワーカーなどが対応します。他の困りごとにも相談を受けることで対応します。それらの対応で、身体が少し楽になり、気持ちが少し楽になり、また何とかやっついこうと少し元気が湧いてくるのです。『緩和ケア』とは、そうやって患者さんと家族の生活を応援して、その人らしい人生を過ごすことを目標にしています。その活動は人生を終える時まで続いていきます。

身体のつらさの緩和

・医師
・看護師

制度・経済的な問題の解決

・医療ソーシャルワーカー (MSW)

精神的なつらさの緩和

・医師
・看護師
・臨床心理士
・牧師

患者さま
と
ご家族

身体が少し楽になる
気持ちが少し楽になる

また何とかやっついこうと
元気が湧いてくる

Point「つらい時は主治医や看護師に相談しましょう」

相談すれば、「緩和ケアチーム」というスタッフや「がん相談支援センター」「相談室」といういろいろと相談できる窓口があるので紹介してくれると思います。

まとめです。『緩和ケア』とは、「治す」とは違う方法で皆さんの人生を応援する方法です。身体のつらさや精神的なつらさ、孤独感などに対して、症状を和らげたり癒したり、相談を受けることで対応します。主治医や看護師、がん相談支援センターや相談室などにまず相談することで緩和ケアは始まります。



図：緩和ケアの役割

ほっとスマイルケア



日々のケア場面で突き当たる「どうしたらいいの？」をほんの少し解消

次号は「みだしなみ」

今回のテーマは、「言葉」です。

新しい年度です。気持ちをあらたに背筋がのびる気持ちのいい季節ですね。

今回は、気持ちと共に言葉を見直してみましょう。言葉は、気分を良くも悪くもできます。そんな言葉の効果をうまく使うとしたら例えば、「〇〇さん、いつも良い笑顔ですね。」と言われたら誰だって元気にうれしくなりますよね。

ありがとう

〇〇さん、いつも良い笑顔ですね。



日頃、自分がどんな言葉を多く使っているかをチェックし、できるだけ前向きで肯定的な言葉を使っていくよう心がけてみましょう。

(人材開発室 藤井)

「肯定的な表現にするときの4つのポイント」

- ①否定的な言葉を肯定的にする
例：運動しかできない→運動はできる
- ②接続語で否定的な言葉を打ち消す
例：運動は大変だ→運動は大変だけど
- ③否定的なことを先に肯定的なことを後にする
例：運動は大変だけど、健康でいられる
- ④時間の見方を変える
例：あと5分しかない→あと5分ある



いきいき生活 始めの一步

ご存知ですか？「リハビリテーション」

『リハビリテーション』は「再び適した状態になること」などの意味を持ちます。リハビリ＝専門職による機能回復訓練（関節の曲げ伸ばしや歩行訓練など）と考えられがちですが、病気やケガなどさまざまな原因によって障がいを負った方が「人間らしく生きること」あるいは「自分らしく生きること」が重要で、そのために行われるすべての活動がリハビリなのです。

信愛病院のリハビリには理学療法士（PT）と作業療法士（OT）と言語聴覚士（ST）がいます。入院リハビリを中心に、外来リハビリ、訪問リハビリ（「訪問看護ステーションほほえみ」から出ています）を行っています。

私たちは、障がいを持った方の失われた機能の回復のみに着目するだけでなく、障がいを持ったままでも可能な限りその人らしい生活が送れるように支援

していきたいと思っています。

当院のリハビリテーション室は正面玄関に入って右に曲がり、突き当りを左に行っていたと見えます。特に機能訓練室は開放的で、晴れの日には日当たりもよく、ぽかぽかと気持ちのいい空間です。病院にお越しの際は、覗いてみてください。

(信愛病院 理学療法士 三上)

※当院でリハビリテーションを受けるには医師の処方が必要です。またリハビリを受けられる病名や期間には制限があります。



理学療法士(PT) 作業療法士(OT) 言語聴覚士(ST)



清瀬信愛教会

牧師 竹前 治

教会活動の働き

「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。」

(コリントの信徒への手紙一

12…12)

今回は教会の活動について紹介します。「教会は何をするところか？」一言でいえば神様を礼拝する場所であります。教会の働きのすべては礼拝を中心として、礼拝から押し出されてなされているものであります。教会には長老会(役員会)を中心として様々な働きがあります。長老会は教会の



集会のご案内

主日礼拝 日曜日

○信愛病院 外来ロビー

9:20～10:00

○教会礼拝堂 10:30～11:45

正午礼拝 木曜日

○教会礼拝堂 12:35～12:55

心臓であり、すべての決定をする場所です。ここを中心に毎週日曜日に行われていることは、①日曜

学校(子供を対象にした礼拝)、②院内礼拝(信愛病院、信愛の園

に入院、入所された方を対象にした礼拝)です。

毎月一回礼拝後に行われている活動は、婦人会、壮年会、青年会、中高生会であり、それぞれの年齢層にあわせた学びをしています。

また毎週木曜日に正午礼拝を行っています。これは病院やその他信

愛報恩会の施設に働いている方々のための礼拝です。教会はイエス様を頭として上記に紹介した働きがイエス様の体として結びついて働いているのです。

ぜひ、教会の礼拝に足をお運びください。

チャプレンだより

「ナオミ会について」

ナオミ会は特別養護老人ホーム信愛の園が実施している聖書の会です。

毎月第三水曜日の十四時から、信愛の園五階クラブ室で行っています。

ナオミはルツの義母です(信愛の友632号のチャプレンだより参照)。ナオミは愛情深く聡い老婦人でこれにあやかつての命名でしょう。ナオミ会は日曜日の院内礼拝出席者が多く、聖書に理解があり、メッセージの後には自由に楽しく語り合います。

彼らに信仰を感じさせられます。「右の手には長寿を…彼女の道は喜ばしく平和のうちにたどつてゆくことができる。」(箴言3章16…17節)



チャプレン
武井 アイ子

編集
後記

信愛

創立百周年記念事業として

「しんあい清戸の里」(サ高住)、「グループホームひまわり」とともに「看護小規模多機能型居宅介護」「複合型ケアほえみ」が船出してもうすぐ二年経ちます。都内でもまだ数少ない事業として、当初はサビ内容を知っていただくことが簡単ではありませんでした。

六十五歳以上の独居、二人世帯が既に半数を超える現在、医療ニーズの高い在宅ご利用者が安心して暮らせるための強力なサポート役として、ますます地域での役割は増えていきます。『医療と介護の連携』を文字通り具現化した「複合型ケアほえみ」を、一人でも多くの皆様に知っていただきたいと願います。(記…鑑)

社会福祉法人
信愛報恩会

〒204-0024

東京都清瀬市梅園 2-5-9

TEL 042-433-4300

FAX 042-433-4301

honbuad@shin-ai.or.jp

編集発行人：鑑 勉

信愛の友編集委員会

次号は、7月中旬予定

特集「アニマル」